

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	売木村から南信州にインバウンドの風を ～Deep South Nagano PJ～
事業主体 (連絡先)	売木村 0260-28-2311
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,019,680 円

事業内容

奥三河や木曾を訪れている外国人観光客に、さらに売木村および南信州へともう一步、二歩、足を踏み入れてもらうために、また、従来の観光地ではないもっと深い日本を知りたいと思っている外国人観光客に当地域の魅力を知ってもらい訪れてもらうために、本プロジェクトでは、宿場町にはない当地域ならではの魅力を打ち出すことを目的とした。村民協働で古民家を改修し「うるぎ国際センター(UIC)」を整備し、うるぎ国際センターを拠点にインバウンドの情報発信を行い、売木村発信で南信州各地の大自然、伝統的なお祭りや文化等のDeepでおもしろい南信州を巡ってもらうような動線を構築するため情報発信ツール等の制作を実施した。

事業効果

- ①うるぎ国際センターの取組が各メディア(新聞、TV、雑誌等)で取り上げられる事例が増え、その中から内閣府政府広報室の海外広報web誌“Highlighting JAPAN”での取材も進んでおり、南信州インバウンドの大きな促進に繋がった。
- ②村民と協働で改修作業やプレOPEN等の開催により、村民のインバウンド(外国人観光客)に対するハードルを低くするきっかけとなった。
- ③本拠点が稼働することにより、各地で問題になっている外国人の観光客によるトラブルや緊急時の対応等のサポート体制が可能となり、村内のインバウンド事業が底上げされる可能性が高まった。宿、施設等の活性化の期待もされる。
- ④海外との文化交流ができる拠点の構築によって、地域の教育に大きな好影響を与えつつある。実際に隣町の阿南高校からも次年度の授業の中でニーザー氏を講師として招聘し、その後、うるぎ国際センターへ来訪し視察を行いたいという要望も出ている。

今後の取り組み

本事業で整備されたうるぎ国際センターを中心に、村内の他施設でのインバウンドの受入体制のサポートを強化し、今後、村内のインバウンド事業が底上げされ、宿、施設等の活性化に繋がるような取り組みを実施していく。さらに今後は、実際に売木村の学校や子どもたちとの協働事業の創出や村内の事業者での連携を強化しインバウンド事業に携わる人材や、インバウンドガイド等の育成を目指す。



【2/3のプレOPENイベントの様子】

【目標・ねらい】

- ①うるぎ国際センターの取組を契機に南信州インバウンドの大きな促進に繋げる。
- ②村民と協働で改修作業やプレOPEN等を開催し、村民のインバウンドに対するハードルを低くする。
- ③外国人観光客の対応等のサポート体制を構築し、村内のインバウンド事業を促進させ宿、施設等の活性化を図る。
- ④海外との文化交流ができる拠点の構築によって、地域の教育に寄与する。

※自己評価【B】**【理由】**

インバウンドの拠点構築によりメディア取材や学校からの反響があり目標としていた効果が現れてきた。プレOPENには多くの村民が参加し関心を寄せている。今後の展開として、この拠点を中心に村内各施設との連携への取組を進めていく必要がある。